

令和3年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会開催要領 ～リモート開催～

1 趣旨

全国の農業大学校等においては、将来の農林業・農山村を担うべき人材を育成することを目的として、農林業経営の改善、農山村生活の向上に関する科学的技術及び知識を習得させるため、農林業経営実践学習（以下「プロジェクト学習」という。）を基調とした多様な実践教育を行っている。

本発表会は、プロジェクト学習等の学生の日頃の学習活動成果を発表し、農業に取り組む自信と誇りを培うとともに農業大学校等における研修教育の充実を図ることを目的としている。

2 実施主体

全国農業大学校協議会

3 後援

農林水産省、農業大学校同窓会全国連盟

4 開催日程（※日程の詳細は後日お知らせします。）

◆発表及び審査：

令和4年2月1日（火）プロジェクト発表（養成課程）

2月2日（水）プロジェクト発表（研究課程）、意見発表

◆審査結果発表：

令和4年2月3日（木）※農大協議会ホームページに掲載

5 開催方法

Zoomによるリモート開催とする。

6 参加者

全国の農業大学校等の学生及び職員

7 行事内容

全国発表会

5ブロック（東日本、関東、東海・近畿、中国・四国、九州）の代表によるプロジェクト発表、意見発表

(1) プロジェクト発表

農業大学校等の学生が、プロジェクト学習において「自ら考え、自ら実践したこと、その成果とこれからの展開等」について発表する。

① 発表内容等

- ア 農林業経営に関すること、農林業技術の改善に関すること及び農山村生活の向上に関すること。
- イ 他団体の懸賞作文等との重複応募は禁止。

② 発表者

- ア 各ブロック（東日本、関東、東海・近畿、中国・四国、九州）で開催されたプロジェクト発表会において選出された者。
（養成課程は各ブロック 3 名、研究課程は各ブロック 1 名）とする。
- イ 発表は養成課程、研究課程別に行う。
- ウ 発表者の服装は制服又はスーツとする。

③ 発表方法・時間

- ア 発表は、事前録画を行わず、Zoom を活用してリアルタイムで行い、発表後に、審査員からの質疑応答を行う。
- イ 発表は、パワーポイントを用いて行い、発表者又は補助者がその操作を行う。
- ウ 発表時間 養成課程：発表 10 分、質疑 2 分、
研究課程：発表 10 分、質疑 5 分
なお、事務局で発表時間の計測を行い、発表者へ時間経過の伝達は行わない。

④ 提出資料

審査資料として、発表要旨（別記様式 1）を令和 4 年 1 月 27 日（木）までに農大事務局にメール送信する。※必着のこと

・全国農大協事務局メールアドレス：noudaikyo@apricot.ocn.ne.jp

⑤ 審査及び審査員

- ア 審査は、「⑥審査基準」に基づき、審査、採点を行う。
- イ 審査は養成課程、研究課程に分けて行う。
- ウ 審査員は、別添「(参考)審査員名簿」のとおり、農林水産省農業教育担当者、農業関係試験研究機関、農業大学の研修教育に理解の深い学識経験者、農業団体・農業改良普及事業関係者等から選任した者とする。
- エ 事務局は審査員から送信された審査結果を、協議会会長に報告する。
- オ 事務局と協議会会長は審査結果を取りまとめ受賞者を選出する。

⑥ 審査基準

- ア 発表内容 60 点
課題設定の背景や調査・研究への取組み方、成果の取りまとめ方及び今後の展開等
- イ 発表方法及び態度 30 点
発表資料等の分かりやすさ、発表態度及び時間配分等
- ウ 理解度 10 点
質疑に対する応答・態度等

◆審査項目

	ア、発表内容 60点	イ、発表方法及び態度 30点	ウ、理解度 10点
基準	① テーマの設定 はふさわしいか。 ② テーマに沿った計画で調査・研究を進めたか。 ③ 実践・調査・研究が的確であるか。また、実践・調査・研究過程において 創意工夫 がみられたか。 ④ 資料の検討・分析が十分に行われ、 成果の判断 が総合的に出来たか。 ⑤ 実践・調査・研究の 成果を自家の経営または地域の農業にどう展開 しようとするのか。	① 発表の内容が総合的に整理されているか。 ② パワーポイント等は分かりやすくまとめ、説明は的確であったか。 ③ 話し方や発表態度は良かったか。	・ 質疑に対する応答・態度等は的確か。

注) 発表時間の不足及び超過については、事務局により一括して減点する

- ・ 9分未満「2点減点」
- ・ 10分超過 11分未満「2点減点」、11分超過は「4点減点」

⑦ 表彰 (※ 賞の点数については、変更する場合があります。)

審査の結果、次の区分により表彰する。

ア 養成課程

- 最優秀賞 (農林水産大臣賞) 1点
- 優秀賞 (経営局長賞) 1点
- 特別賞 (農業大学校同窓会全国連盟賞) 4点
- 優良賞 (全国農業大学校協議会会長賞) 9点

イ 研究課程

- 最優秀賞 (経営局長賞) 1点
- 特別賞 (農業大学校同窓会全国連盟賞) 4点

(2) 意見発表

① 発表内容等

ア 大学校等における実践学習、自家の農林業経営や生活、地域の農山村環境、就農等について、自らの学生生活を通じて日頃考えていることや思い等を発表する。

イ 他団体の懸賞作文等の重複応募は禁止する。

② 発表者

ア 各ブロックの発表会において選出された者とし、各ブロック2名(養成課程、研究課程及び学年を問わない)とする。

イ 発表者の服装は制服又はスーツとする。

③ 発表方法と時間

発表は口演とし、Zoomを活用して行う。

◆発表時間：発表8分、質疑2分

なお、事務局で発表時間の計測を行い、発表者へ時間経過の伝達は行わない。

④ 事前提出資料

審査資料として、発表要旨（別記様式2）を令和4年1月27日（木）までに農大事務局へ提出する。※必着のこと

・全国農大協事務局メールアドレス：noudaikyo@apricot.ocn.ne.jp

⑤ 審査及び審査員

ア 審査は、審査基準に基づき、審査・採点を行う。

イ 審査員は、別添参考資料のとおり、農林水産省農業教育担当者、農業関係試験研究機関、農業大学の研修教育に理解の深い学識経験者、農業団体・農業改良普及事業関係者等から選任した者とする。

ウ 事務局は審査員から送信された審査結果を、協議会会長に送信する。

エ 事務局と協議会会長は審査結果を取りまとめ受賞者を選出する。

⑥ 審査基準

ア 課題設定の背景と動機 40点

課題設定の背景や取り組みの過程、成果のまとめ方、今後の展開等

イ 意見・提言の内容 50点

主張内容の実現性や創造性、地域性、社会性等

ウ 発表方法・態度 10点

発表態度、発表法の工夫等

◆審査項目

	ア 課題設定の背景と動機 40点	イ 意見・提言の内容 50点	ウ 発表方法及び態度 10点
基準	① 農業・農村を直視した課題設定であるか ② 主張に地域的、社会的広がりがあるか ③ 自分自身の立場に立脚した主張であるか。	① 主張の内容が広く社会に受けられるものか ② 主張の内容に実現性と創造性があるか ③ 農業・農村を担う農大生としての夢や希望を具体的に持っているか	① はっきりと分かりやすい発表であるか ② 自信のある態度で発表できたか。 ③ 聴衆の関心を得ることに工夫をしているか

注) 発表時間の不足及び超過については、事務局により一括して減点する

・ 7分未満「2点減点」

・ 8分超過9分未満「2点減点」、9分超過は「4点減点」

⑦ 表彰 (※ 賞の点数については、変更する場合があります。)

審査の結果、次の区分により表彰する。

最優秀賞	(経営局長賞)	1点
特別賞	(農業大学校同窓会全国連盟賞)	4点
優良賞	(全国農業大学校協議会会長賞)	5点

8 発表学生の報告

各ブロック(東日本、関東、東海・近畿、中国・四国、九州)会長は、ブロック発表会の結果をもとに、農大協事務局と農大協会長に対して、下記により発表学生を報告願います。

報告方法：別紙【発表学生報告様式】に記入の上、メールに添付して報告のこと

報告期限：令和4年1月24日(月)

報告先：全国農業大学校協議会事務局 (noudaikyo@apricot.ocn.ne.jp)

全国農業大学校協議会会長 (岩手県立農業大学校 CE0014@pref.iwate.jp)

9 広報

プロジェクト発表、意見発表の内容、結果については、学生の修学意欲の高揚、農業に取り組む自信と誇りを培う等農業大学校等における実践学習の充実強化に資する観点から広く関係機関等一般に広報する。

10 事務局等連絡先

(1) 全国農業大学校協議会事務局 (事務局長：佐藤)

東京都 新宿区高田馬場 1-6-6 TR アーバンプレイス高田馬場Ⅱ 102号

TEL：03-6441-0272 FAX：03-6441-0273

Eメール noudaikyo@apricot.ocn.ne.jp

(2) 全国農業大学校協議会 会長 菊池徹哉

岩手県 胆沢郡 金ヶ崎町六原蟹子沢 14 (教務担当：高橋)

TEL：0197-43-2211 FAX：0197-43-3184

Eメール CE0014@pref.iwate.jp

【別記様式1】

プロジェクト発表要旨記入要領

A-4版：縦置き・横書き 1枚・字の大きさ：10ポイント（MS明朝）・1
行：46字・行数：38行

令和3年度全国農業大学校等プロジェクト発表要旨

ふりがな

農業大学校名 _____ 学科名 _____ 年 氏名 _____

1 課 題

2 課題設定の理由

3 実施方法

4 結 果

5 考 察

【別記様式2】

意見発表要旨記入要領

A－4版：縦置き・横書き 1枚・字の大きさ：10ポイント（MS明朝）・1
行：46字・行数：38行

令和3年度全国農業大学校等意見発表要旨

農業大学校名 _____ 学科名 _____ 年 _____ 氏名 _____
ふりがな

1 課 題

2 意見・提言

（意見・提言等の発表要旨を主要な項目に整理し、項目別に簡潔に整理記入する。）

（参考）審査員名簿

全体審査員長 安藤 義道 氏（元農業者大学校校長）

1. プロジェクト発表養成課程（☆：審査員長）

審査員氏名	所 属
あんどうよしみち 安藤 義道	元農業者大学校校長
くりたこうたろう ☆栗田 幸太郎	元全国指導農業士会会長
うえの つとむ 上野 勉	全国農業青年クラブ連絡協議会 副会長
ふくしままさと 福島 正人	ヤンマーアグリ（株）東京支社 企画室専任部長
いとう なおき 伊藤 直樹	農林水産省経営局就農・女性課 経営専門官

2. 意見発表及びプロジェクト発表研究課程（☆：審査員長）

審査員氏名	所 属
おおくまあきひと ☆大熊 哲仁	鯉淵学園農業栄養専門学校 教授
やまうらまさひろ 山浦 昌宏	全国農業青年クラブ連絡協議会 副会長
おかだ けんじ 岡田 健治	（株）日本農業新聞編集局 営農生活部長
やまなかさとし 山中 聡	アリスライフサイエンス株式会社 製品開発部 開発グループ開発マネージャー
いとう なおき 伊藤 直樹	農林水産省経営局就農・女性課 経営専門官